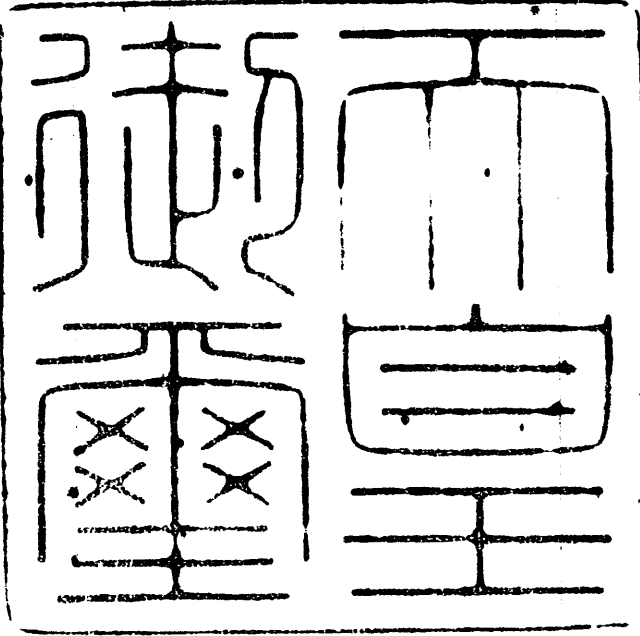


勅令第五百三號

朕企業整備令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

裕仁



昭和十七年五月十二日

内閣總理大臣兼
 陸軍大臣 東條 英機
 農林大臣 井 里 碩 哉
 拓務大臣 小 泉 親 彦
 海軍大臣 山 田 繁 三
 逓信大臣 寺 島 健 郎
 大藏大臣 賀 屋 興 宣
 商工大臣 岸 信 介

勅令第五百三號

企業整備令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル
 場合ヲ含ム以下同ジ）第十六條ノ二ノ規定ニ基ク事業ニ關スル
 設備又ハ權利（水ノ使用ニ關スル權利ヲ除ク以下同ジ）ノ譲渡
 其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ニ關スル命令及國家總動員
 法第十六條ノ三ノ規定ニ基ク事業ノ委託、譲渡、廢止若ハ休止
 又ハ法人ノ合併若ハ解散ニ關スル命令ニ付テハ別ニ定ムルモノ
 ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル。
 第二條 本令ハ國民經濟ノ總力發揮ニ資スル爲企業ヲ整備シ又ハ
 之ガ爲事業ニ關スル設備若ハ權利ノ利用ヲ有效ナラシムルコト

ヲ目的トス

第三條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生産（加工ヲ含ム以下同ジ）、修理、販賣、輸出、輸入又ハ保管ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノニ屬スル設備又ハ權利ニ付一般的ニ讓渡其ノ他ノ處分、出資、使用又ハ移動ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

前項ノ設備又ハ權利ハ主務大臣之ヲ指定ス

第四條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生産、修理、販賣、輸出、輸入又ハ保管ノ事業ニシテ主務大臣ノ指定スルモノニ付一般的ニ當該事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡、廢止又ハ休止ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル事業ヲ營ム法人ノ合併又ハ解散ノ決議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第五條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ物資ノ生産、修理、販賣、輸出、輸入若ハ保管ノ業ヲ營ム者（以下事業主ト稱ス）又ハ主務大臣ノ指定スル法人ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備若ハ權利ノ讓渡若ハ貸渡ヲ命ジ又ハ事業主若ハ主務大臣ノ指定スル法人ニ對シ當該設備若ハ權利ノ讓受若ハ借受ヲ命ズルコトヲ得前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラズ讓渡又ハ貸借ヲ爲スコトヲ得

第六條 前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ貸借ノ條件ハ當事者間ノ協

議ニ依ル

前項ノ協議ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生
ゼズ。

第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ主務大
臣ハ譲渡又ハ貸借ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

第七條 知レタル擔保權ノ目的タル設備又ハ權利ニ付第五條第一
項ノ規定ニ依ル譲渡又ハ譲受ノ命令アリタル場合ニ於テ當該擔
保權ヲ消滅セシムルニ非ザレバ企業ヲ整備シ又ハ當該設備若ハ
權利ノ利用ヲ有效ナラシムルコト困難ナルトキハ當事者ハ擔保
權ノ處理ニ付擔保權者ニ協議スルコトヲ得

前項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ當事者又

ハ擔保權者ハ當該事項ニ付主務大臣ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第八條 前條ノ規定ハ知レタル賃借權其ノ他ノ權利ノ目的タル設
備又ハ權利ニ付第五條第一項ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ
之ヲ準用ス

第九條 譲渡ヲ受クル設備又ハ權利ニ付知レタル擔保權ノ存スル
場合ニ於テ當該擔保權ガ第七條ノ規定ニ依リ消滅スルトキハ當
該設備又ハ權利ノ譲渡價格ヲ支拂フベキ者ハ其ノ譲渡價格ヲ供
託スルコトヲ要ス但シ同條ノ協議又ハ裁定ニ於テ別段ノ定ヲ爲
シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ供託金ニ對シ其ノ權利ヲ行
フコトヲ得

第十條 主務大臣ハ第五條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ關スル設備ノ讓渡又ハ貸渡ノ命令ヲ爲シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第六條ノ協議又ハ決定前ト雖モ當該設備ヲ占有スル者ニ對シ必要ナル事項ヲ指定シテ當該設備ノ讓受又ハ借受ヲ爲スベキ者ハ當該設備ヲ使用セシムベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ當該設備ノ讓受又ハ借受ヲ爲スベキ者ヲシテ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ供託シタルモノノ處理ニ付テハ第六條ノ協議又ハ決定ニ於テ必要ナル定ヲ爲スベシ

第十一條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ其ノ

事業ニ關スル設備又ハ權利ヲ株式會社、株式合資會社又ハ有限會社ニ出資スベキコトヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ主務大臣ハ出資ノ相手方タル會社ニ對シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五條第二項及第六條乃至第八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

出資スル設備又ハ權利ニ付知レタル擔保權ノ存スル場合ニ於テ當該擔保權ガ前項ニ於テ準用スル第七條ノ規定ニ依リ消滅スルトキハ當該擔保權者ハ出資ニ對シ割當テラレタル株式又ハ持分ノ上ニ質權ヲ有ス但シ同條ノ協議又ハ裁定ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ質權ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 事業ニ屬スル設備ニ付第五條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ當該設備ノ滅失、毀損其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ命令ニ應ズルコト能ハサルニ至ルベキトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ遲滞ナク之ヲ主務大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ事業ニ屬スル權利ニ付第五條第一項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十三條 第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル譲渡、貸渡又ハ出資ノ命令ヲ受ケタル者ハ譲渡、貸渡又ハ出資ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザ

レバ當該設備又ハ權利ヲ譲渡シ、貸渡シ其ノ他當該設備又ハ權利ニ關シ新ナル處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條 第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ譲渡又ハ出資ヲ受ケタル者當該設備又ハ權利ニ付譲渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十五條 事業ニ屬スル設備又ハ權利ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、土地收用法ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十條若ハ第十三條ノ規定ニ基ク使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限り當該設備又ハ權利ニ關シテハ第五條第一

項又ハ第十一條第一項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十六條 工場財團又ハ鑛業財團ニ屬スルモノハ第七條（第十一條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ依リ擔保權ノ消滅シタル場合ヲ除クノ外第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍舊財團ニ屬スルモノトス

第十七條 主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ事業ニ屬スル設備又ハ權利ヲ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ第十八條ノ規定ニ依リ債務ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ガ擔保權ノ實行ニ因リ受クルコトアルベキ損失ノ補償ニ充ツル爲命令ノ定ムル所ニ依リ相當

ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得

讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十八條 主務大臣ハ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備又ハ權利ヲ擔保トスル債務ヲ引續キ負擔セシメ置クコトヲ適當ナラズト認ムルトキハ國家總動員法第十八條ノ二ノ規定ニ基キ命令ノ定ムル所ニ依リ讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承繼セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル承繼價格其ノ他ノ承繼ニ關スル條件ハ當事

者間ノ協議ニ依ル

第六條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ事業ノ委託、受託、讓渡若ハ讓受又ハ事業主タル會社ノ合併ヲ命ズルコトヲ得

第五條第二項、第六條乃至第十條及第十二條乃至前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡又ハ讓受ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第五條第二項及第六條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ事業ノ委託若ハ受託又ハ會社ノ合併ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十條 第六條（第十一條第二項、第十八條第三項及前條第二

項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ協議若ハ決定、第七條

（第八條、第十一條第二項及前條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ協議若ハ裁定又ハ第十八條ノ協議ニ基キ會社ガ事業ノ讓渡、合併其ノ他當該協議、決定又ハ裁定ニ於テ定ムラレタル事項ノ實行ヲ爲サントスルニ付株主總會又ハ之ニ準ズベキモノノ決議、同意等ヲ必要トスル場合ニ於テ其ノ決議、同意等ヲ得ルコト能ハザルトキハ會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該事項ノ實行ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 本令ニ規定スルモノノ外第六條（第十一條第二項、

第十八條第三項及第十九條第二項第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ決定及第七條（第八條、第十一條第二項及第十九條第

二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ムノ裁定並ニ第五條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ依リ事業ニ關スル設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命ジタル場合及第十九條第一項ノ規定ニ依リ事業ノ讓渡ヲ命ジタル場合ニ於ケル讓渡又ハ出資シタル者ノ負擔スル債務ノ承繼及擔保ノ處理ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 主務大臣ハ必要アリト認ムルトキハ事業主ニ對シ事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ命ズルコトヲ得

第五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ前條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ因ル通常生ズベキ損失トス

前項ノ規定ニ依ル損失補償請求ノ時期ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十四條 主務大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ事業主、第五條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ指定スル法人其ノ他關係者ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ工場、事業場、店舗、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十五條 主務大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）又ハ當該主務大臣ノ所轄スル

官衙ノ長ニ委任スルコトヲ得

前項ノ規定中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）ニ
關スル規定ハ樺太及南洋群島ニハ之ヲ適用セズ

第二十六條 第五條、第六條（第十一條第二項及第十八條第三項
ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第七條（第八條及第十一條第二
項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）、第十條乃至第十四條、第十七
條、第十八條、第二十條（事業ノ委託、受託、讓渡、讓受及會
社ノ合併ニ關スル場合ヲ除ク）及第二十四條中主務大臣トアル
ハ軍事上特ニ必要アル設備又ハ權利ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍
大臣トス

前項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣、他ノ大臣、所管大臣又

ハ當該大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ
各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

前條中地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム）トアルハ
朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長トス

第二十七條 主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ
當該設備若ハ權利ノ屬スル事業又ハ當該事業ガ他ノ大臣ノ所管
ニ屬スルモノナルトキハ當該所管大臣ニ協議スベシ但シ陸軍大
臣又ハ海軍大臣軍機保護上特ニ必要アル設備又ハ權利ニ付命令
ヲ爲サントスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該命令ガ
軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大

臣ニ協議スベシ

主務大臣本令ニ依リ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ當該事項ガ
他ノ法令ニ基キ他ノ大臣ノ許可、認可、承認、免許等ヲ要スル
モノナルトキハ當該大臣ニ協議スベシ

附 則

本令ハ昭和十七年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太
及南洋群島ニ在リテハ昭和十七年六月十五日ヨリ之ヲ施行ス